

2019年10月4日  
明治安田アセットマネジメント株式会社

## 国連責任投資原則（PRI）の年次評価について

明治安田アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 大崎 能正、以下「当社」）では、国連責任投資原則（以下「PRI」）の2019年の年次評価において、責任投資に係る総合評価となる「戦略とガバナンス」部門で最高評価の「A+」を獲得いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、責任ある機関投資家として、建設的な「目的を持った対話」や議決権行使などを通じて、投資先企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、お客さまの中長期的な投資リターンの拡大を図っており、投資先企業のサステナビリティ（持続可能性）にとって重要と考えられる非財務情報であるESG（環境・社会・ガバナンス）に関する取組みを強化しております。

当社のESGの取組みに関しては、企業のファンダメンタルズを熟知している担当アナリストが、企業価値を左右するESG項目をマテリアリティとして抽出しファンダメンタルズと統合した分析を行った上で、経営陣とESGに特化した対話を行い、当該企業の企業価値の持続的拡大を促すよう努めております。

今後ともESG運用の高度化を進め、インベストメント・チェーンの一員を成す機関投資家としての機能を発揮し、資本市場の発展と持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

- RRIは、機関投資家がESGに係る課題を理解して投資の意思決定や株主としての行動に組み込み、長期的な投資パフォーマンスを向上させ、受託者責任を果たすことを目的として、2006年4月に国連環境計画・金融イニシアティブと国連グローバル・コンパクトとの共同により策定された原則です。当社は2016年3月に署名いたしました。
- PRIの年次評価は、PRI事務局が、署名する機関投資家を対象に責任投資の実施状況等について評価したものです。署名機関は、毎年、責任投資の態勢や取組状況に関する報告書をPRI事務局に提出し、その報告書をもとに、6段階（A+、A、B、C、D、E）で評価が付与され、「A+」が最高評価となっています。

以 上